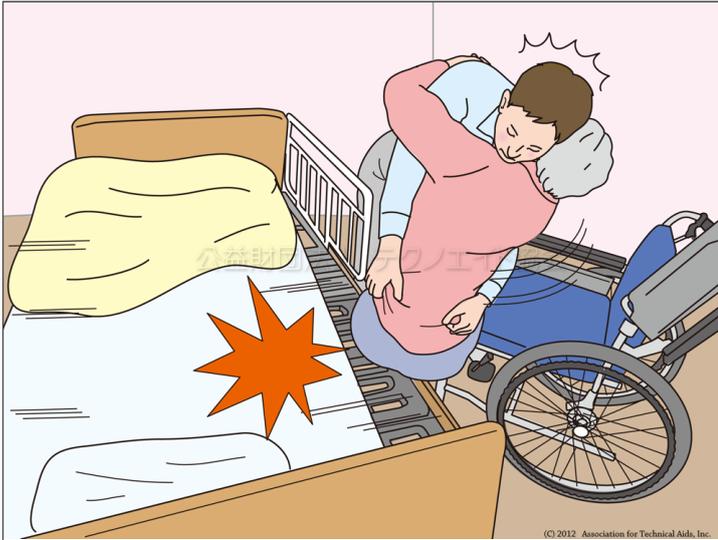


Case : 39

マットレス止めがなく、移乗時にマットレスが大きくズれる

場面の説明

マットレス止めがなく、移乗の際にマットレスが大きくズれた



利用シーン	 移乗
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

横方向のマットレス止めが無いベッドではこのような危険が高まりますので、頻繁に起こるようであればベッドの機種変更を検討すべきでしょう。横方向のマットレス止めがあるにもかかわらずこのようなマットレスのズレが起こる場合では、そもそも無理な介助方法である可能性が高いと思われますので、介助方法の再検討が必要ではないでしょうか。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：勢いをつけた移乗介助に危険が伴うという理解に欠けている
- 人：マットレス止めが外れかかっていることに気づかなかった
- モノ：横方向のマットレス止が付いていない

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 39

マットレス止めがなく、移乗時にマットレスが大きくズれる

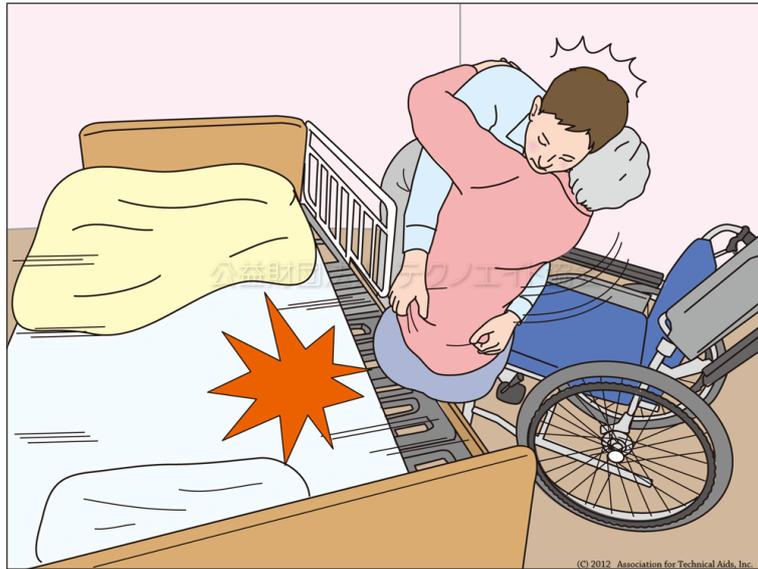
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

マットレス止めがなく、移乗の際にマットレスが大きくズれた



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ